



つなぎたい、クルマの未来[®]

信頼性試験サービスのご案内

国際規格、国内外各社自動車メーカー独自規格などに対応し
自動車に特化した信頼性試験サービスをご提供します

Empowering Trust[™]

信頼性試験サービス

安全規格の策定や安全認証で培った知見や試験能力と、
15年以上提供している車載機器向け EMC サービスの経験を融合し、
車載機器に特化した信頼性試験サービスをご提供いたします。

製品安全試験・認証

ULは、1世紀以上にわたり、製品の安全試験を行い、様々な規格を開発してきた第三者安全科学機関です。絶縁材料、配線、家電製品に始まり、技術の目覚ましい進歩に従い、電子機器・部品、電池、デジタル・モバイル機器にもその認証範囲を広げ、ULマークに留まらず、世界各国に必要な安全認証をサポートし、安全性・信頼性の高い製品の市場導入を支援してきました。

長い歴史に裏打ちされた高い試験能力と安全認証の知見をフルに活用し、お客様のご要望に応じた測定やカスタム試験なども提供しています。

主なサービス内容

- UL認証
- IEC 62368
- PSEマーク
- レーザー / LED 光放射安全
- 電池
- UL Verified Mark
- CBレポート
- Sマーク
- エネルギー効率性
- MIL規格試験

車載機器 EMC 試験

JABや米国A2LAよりISO/IEC 17025 に基づいた試験 / 校正所であり、ECE Regulation、国際規格 (ISO、CISPR) などの規制に基づく試験・認可取得に幅広く対応しています。(VCA: テクニカルサービス、VINCOTTE / Snch: 認定試験所)

GM、FORD、Jaguar Land Rover、MAZDAなどの自動車メーカーより承認試験所として認められています。積極的なサービス拡張により、車載機器の電気試験LV 124、LV 148に対応し、日本初のCISPR 25: 2016 Edition 4 Annex I 対応の固定型ダイナモメーター搭載電波暗室 (EHV Chamber) を保有しています。

主なサービス内容

- 規制に基づく試験・認証取得
- 自動車メーカー規格に基づく認証試験
- Eマーキング
- CISPR 25 及び類似の測定
- ISO 11452シリーズ、ISO 7637シリーズ
- 電気試験LV 124、LV 148
- CISPR 25: 2016 Edition 4 Annex I



CB証明 (国内で評価が可能なカテゴリー: OFF、TRON、HOUS、EMC、BATT、MISC、LITE、MED、MEAS、PV)

各認定機関のロゴが対象とする認定の範囲はそれぞれ異なります。詳細は次のウェブサイトをご参照ください。

http://japan.ul.com/resources/emc_accredited/

すべての試験が、リストされている認定それぞれによりカバーされているわけではありません。



車載機器に特化した信頼性試験サービス

2つのサービスで培った知見や経験、試験能力を融合し、新しいサービスとしてご提供いたします。
国際規格や国内外自動車メーカーの独自規格などで要求される車載部品を対象とした各種信頼性試験に対応します。

対応規格例

- 各社自動車メーカー独自規格
- LV 124 Part I、LV 124 Part II
- IEC 60068
- IEC 60529
- ISO 16750
- JASO D 014-3、JASO D 014-4 など

対応試験項目例

- 低温試験
- 高温試験
- 低温負荷試験
- 高温負荷試験
- 高温高湿試験
- 温湿度サイクル試験
- 温度変化試験
- 熱衝撃試験
- 減圧試験
- 低温・減圧複合試験
- 高温・減圧複合試験
- 塩水噴霧試験
- 塩水噴霧複合サイクル試験
- 防水試験
- 塵埃試験
- 結露サイクル試験
- 正弦波振動試験
- ランダム振動
- 複合振動試験
- 衝撃試験
- バンプ試験
- 自然落下試験
- その他カスタム試験 など



車載機器に関するEMC試験や無線試験等のその他サービスも
ワンストップで提供



サービスの特徴

車載機器に特化して国際規格及び国内外各社自動車メーカー
独自規格等、幅広い自動車メーカーの要求に対応



UL認証で培った信頼とサービスを提供

冷熱衝撃試験

(Thermal Shock Test)

目的

冷熱衝撃試験は試験対象に高温と低温の雰囲気短時間で交互に繰り返し与えることにより、試験対象の温度変化に対する耐性を評価する試験です。繰り返し急激な温度変化を加えると、試験対象の材料は膨張、収縮します。熱膨張係数の異なる材料に、膨張率の違いによる応力が生じ、これが繰り返されることでクラックや破壊が発生します。

設備概要

気槽式冷熱衝撃装置

テストエリア部に吹き込む風をダンパーで自動で切り替え、連続的に熱衝撃を与えます。

湿度冷熱衝撃装置

冷熱サイクル試験と結露サイクルが実施可能な試験装置です。

昇降式冷熱衝撃装置

テストエリアが2ゾーン(高温部、低温部)と昇降移動可能であるため、設定温度への到達が早く、試験時間の短縮が可能となります。

機器仕様

設備名	型式	製造会社	仕様			
			槽内寸法 (W x H x D mm)	温度範囲	湿度範囲	復帰時間
気槽式冷熱衝撃装置 (ダンパー切替方式)	TSA-303EL	ESPEC	970 x 460 x 670	高温: 50 ~ 200 °C 低温: -70 ~ 0 °C	—	10分
湿度冷熱衝撃装置 (ダンパー切替方式)	TSA-203D-W	ESPEC	650 x 460 x 670	高温: 50 ~ 200 °C : -10 ~ 100°C * 低温: -70 ~ 10 °C : -40 ~ 10 °C *	40 ~ 95 %rh *	5分
昇降式冷熱衝撃装置	TSD-301HS-W	ESPEC	650 x 650 x 650	高温: 65 ~ 205 °C 低温: -80 ~ 0 °C 温度変動: ±1.0 °C	—	15分

* 結露サイクル試験時

IP 試験

(International Protection Test)

目的

様々な外来物（手、鋼球、鋼線、粉塵、水など）に対する保護形式に関わる試験を実施することで、製品の防水性能、防塵及び耐塵性能を評価します。防水性能・防塵性能を評価するために、IP試験のみでなく幅広い規格、および自動車メーカー規格の要求に対応することが可能です。

規格

IEC 60529、ISO 16750-4、ISO 19453-4、ISO 20653、JASO D 014-4、JIS D 0203、自動車メーカー規格の対応。

IEC 60529についてはISO/IEC 17025の試験所認定を受けており、整合規格に基づく試験業務を行うことが可能です。

第一特性数字（IP1X、2X、3X、4X、5X、6X、5KX、6KX）及び第二特性数字（IPX1、X2、X3、X4、X4K、X5、X6、X6K、X7、X8、X9K）に対応可能です。

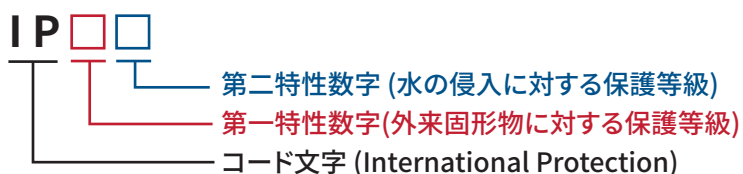
機器仕様

槽内寸法 (W x H x D mm)	耐水性能 (Code/規格)	水温調整
1140 x 1090 x 1185	IPX1、X2、X3、X4 IPX4K、X9K JIS D 0203 R1、R2、S1、S2	15 ~ 80 °C

槽内寸法 (W x H x D mm)	防塵性能 (Code/粉体)
1000 x 1000 x 1000	IP5X、5KX、6X、6KX ①タルク粉 ②アリゾナ砂A2 ③関東ローム (JIS Z 8901 8種)

IP 保護等級について、IP codeで定められた保護等級を満たしていることを確認する試験のことを指します。

IP codeとは、International Protection code (国際保護等級) の略で、電子・電気機器のエンクロージャーを保護している構造を各等級に分類しているものです。



氷水衝撃試験

(Ice Water Shock Test)

目的

冬季に冷水で濡れた道路を走行するときの水はねによって引き起こされる熱衝撃を模擬し、熱衝撃による機械的強度や防水性能への影響を確認します。

適用範囲

路上走行する自動車の外部に取り付けられた電気・電子のシステム及び部品。

規格

ISO 16750-4、JASO D 014-4、自動車メーカー規格。

放水試験 (Splash water test)

試験概要

1. 試験対象を恒温槽に入れ、最大動作温度*で1時間、または規定の時間保持する。
2. 20秒以内に試験対象を恒温槽から放水場所へ移す。
3. 試験対象に冷水を3秒間かける。
4. 上記1～3を指定回数繰り返す。

試験条件例

水温	0 °C ~ 4 °C
水量	3 L ~ 4 L/3秒
放水距離	325 mm ± 25 mm
繰り返し回数	10
試験液	脱イオン水

加熱温度や時間、試験液の温度や種類はカスタム可能です。

浸漬試験 (Submersion test)

試験概要

1. 試験対象を恒温槽に入れ、最大動作温度*で1時間、または規定の時間保持する。
2. 20秒以内に試験対象を恒温槽から浸漬場所へ移す。
3. 動作している状態で冷水タンクに5分間浸漬する。

試験条件例

水温	0 °C ~ 4 °C
水深	10 mm以上
繰り返し回数	10
試験液	脱イオン水

加熱温度や時間、試験液の温度や種類はカスタム可能です。

* システム / 部品が連続して動作できる周囲温度の最高値

高速加速寿命試験

(HAST / PCT)

目的

プレッシャーコッカー試験では、100 °C以上の領域、かつ高密度な水蒸気雰囲気の中で試験を実施します。また、試験槽内の水蒸気圧力を試験対象内部の水蒸気分圧よりも極端に高めることにより、試験対象内部への水分の侵入を早めることができ、結果、耐湿性をより短期間で評価をすることが可能です。

適用範囲

- ・ 小型電子部品、主としてハーメチックシールされていない部品を対象。
- ・ 腐食又は変形といった試料の表面で起きる影響を評価することを目的としてはいない。

規格

IEC 60068-2-66、IEC 60749-4、IEC 62506、JESD22-A102E、JESD22-A110E、JESD22-A118B、JEITA ED-4701/100A (方法 103A) に基づく試験実施可能。

試験概要

- ・ 試験対象には、通常電氣的バイアスが印加される。
- ・ 試験条件は、試験対象に発生する故障モードに重大な影響を及ぼすことがあるので、十分配慮して選択する。
- ・ 相対湿度85 %で3種類の温度水準で行う。試験の厳しさは、各試験における試験時間で定義される。

試験条件例

温度 °C ¹⁾	相対湿度 % ²⁾	試験時間 h ³⁾		
		I	II	III
110	85	96	192	408
120	85	48	96	192
130	85	24	48	96

1) 試験槽内の試験空間で±2 °C 2) ±5 % 3) 0, +2 h

機器仕様

型式	製造会社	圧力容器内寸法 (mm)	温度制御範囲	湿度制御範囲	圧力範囲
EHS-412M	ESPEC	φ350 x D428	+105 ~ 162.2 °C	75 ~ 100 %rh	0.020 ~ 0.392 Mpa (Gauge)

振動 / 衝撃試験

(Vibration / Shock Test)

目的

振動試験は、使用環境や輸送環境を模擬し、製品が機能を果たすことができるのかを確認します。通常使用時には振動の影響を受けない製品も、輸送時の振動を考慮する必要があります。

設備概要

複合環境振動試験機

「振動」、「温度」、「湿度」の3種類の環境条件を同時または各々制御し、試験対象に環境ストレスを加えます。

実際の環境条件に沿った試験を同時に実施できるため、より信頼性の高い試験が行えます。

振動試験機

主な試験として、サイン振動試験、ランダム振動試験、衝撃（ショック）試験による耐振性能を確認します。

衝撃試験機

指定の衝撃作用時間で各種パルス（正弦半波、のこぎり波、台形波）を発生させることが可能です。

落下試験機

5 kgまでの試験対象を任意の姿勢で保持し安定した自然落下試験を実施します。

機器仕様

設備名	型式	製造会社	仕様	
複合環境振動試験機 サイン / ランダム / ショック	FH-8K/51S 1軸垂直タイプ	EMIC	温度 槽内寸法 加振力 周波数範囲	: -40 ~ +150 °C, 湿度: 30 ~ 98 %RH : W1000 x H1000 x D1000 mm : 8.5 kN、最大加速度: 145.1 m/s ² : DC ~ 2000 Hz
複合環境振動試験機 サイン / ランダム / ショック	FH-35K/60 1軸水平/垂直 切換式	EMIC	温度 槽内寸法 加振力 周波数範囲	: -40 ~ +150 °C, 湿度: 30 ~ 98 %RH : W800 x H800 x D800 mm : 35.0 kN、最大加速度: 1000.0 m/s ² : DC ~ 2200 Hz
振動試験機 サイン / ランダム	F-12000BDH/ LA16AW	EMIC	加振力 周波数範囲	: 12.0 kN、最大加速度: 800.0 m/s ² : DC ~ 3000 Hz
振動試験機 サイン / ランダム	F-600BM/A-E90	EMIC	加振力 周波数範囲	: 5.88 kN、最大加速度: 145.1 m/s ² : DC ~ 2000 Hz
衝撃試験機	SDST-300	神栄テクノロジー	衝撃台サイズ 衝撃波形 衝撃加速度範囲 衝撃作用時間範囲	: W300 x D300 mm, 最大質量: 50 kg : 正弦半波 : 100 ~ 3000 m/s ² : 6, 11 ms
落下試験機	DT-205H	神栄テクノロジー	サイズ 落下高さ範囲	: W400 x D360 mm, 最大質量: 5 kg : 500 ~ 2000 mm (姿勢保持落下) : 250 ~ 2000 mm (自由解放落下)

その他の試験サービス

(Other Related Services)

車載機器に限らず、そのほかの製品での受託試験、立ち合い試験、出張試験、測定器・エリアの貸し出し等の幅広いご要望にも対応可能です。

MIL規格試験

米国国防総省が定めるMIL-STD-810に準拠した、衝撃、振動、湿度、高温 / 低温、低圧、塩水噴霧、降雨、浸漬、温度衝撃、砂塵、着氷性 / 凍結性降雨などの各種試験・評価に対応可能です。

電池試験

UL 1642、UL 2054、IEC 62133、UN 38.3、PSE等の安全規格に基づいた試験だけでなく、お客様のご要望に基づいたカスタム試験、規格要求よりさらに厳しい条件下での試験も承ります。過充電・過電圧試験、過放電試験、低圧試験、温度サイクル試験、熱衝撃試験、クラッシュ試験、インパクト試験、内部短絡試験、プロジェクタイル試験、クギ刺し試験、ペネトレーション試験、多チャンネルの充放電装置を用いた長期充放電評価も実施可能です。

自動車EMC試験

UL Japanは、JABや米国A2LAよりISO/IEC 17025に基づいた試験 / 校正所として認定されています。複数の自動車メーカーより認定された試験所として、車載機器EMC試験サービスを提供しております。

規制に基づく試験・認証取得

自動車国際規制 (ECE Regulation)、国際規格 (ISO、CISPR)、自動車セキュリティ、二輪車三輪車など、自動車及び車載部品に対する規制に基づく試験・認可取得に幅広く対応しています。(VCA: テクニカルサービス、VINCOTTE / Snch: 認定試験所)

自動車メーカー規格に基づく認証試験

各自動車メーカー規格に対応したEMC試験を行っています。特にGM、FORD、Jaguar Land Rover、MAZDAなどの認定試験所としてメーカー特有の要求に対するEMC試験を多く実施しています。EV、HV、PHV車の高電圧電源ラインに接続される機器に要求される電圧変動試験にも対応しています。

Eマーキング

自動車国際規制 (ECE Regulation) の要求事項に適合した自動車部品に対して、E+数字 (試験および認可した機関の国番号) を表した適合性マークです。



CISPR 25:2016 Ed.4 Annex I対応
固定型ダイナモ搭載電波暗室「EHV Chamber」

レーザー製品の安全評価

近年、レーザー技術を使用した製品は増加の一途を辿っています。従来のレーザー製品にとどまらず、レーザープロジェクター、3Dプリンター、レーザー照明、3D-LiDAR / Time-of-Flight (TOF) センサー、ヘッドアップディスプレイ (HUD)、レーザーヘッドライト、ヘルスケア、エンターテインメント等、多くの製品に採用されています。

ULは、長年に渡る多様なレーザー製品の評価経験に基づき、IEC 60825並びに米国FDA (CDRH)のレーザー製品安全要求事項への適合性評価サービスを提供します。

試験機器一覧

(List of Test Equipment)

ハイパワー恒温恒湿器



対応試験

低温試験、高温試験、湿度試験、温度サイクル試験

スペック

槽内寸法(W x H x D mm): 1000 x 980 x 800

温度範囲: -70 ~ 200 °C

湿度範囲: 20 ~ 98 %

温度上昇時間: 20 → 180 °C: 15分

温度下降時間: 20 → -70 °C: 15分

冷熱衝撃装置(エレベータ式、ダンパー式)



対応試験

熱衝撃試験、温度サイクル試験

スペック

- エレベータ式

槽内寸法(W x H x D mm): 650 x 650 x 650

温度範囲: 高温 65 ~ 205 °C 低温 -80 ~ 0 °C

復帰時間: 30分以内

- ダンパー式

槽内寸法(W x H x D mm): 970 x 460 x 670

温度範囲: 高温 50 ~ 200 °C 低温 -70 ~ 0 °C

復帰時間: 10分

恒湿機能付き冷熱衝撃装置(ダンパー式)



対応試験

熱衝撃試験、温度サイクル試験、結露サイクル試験、
温度湿度サイクル試験

スペック

形式: ダンパー式

槽内寸法(W x H x D mm): 650 x 460 x 670

温度範囲: 高温 70 ~ 150 °C 低温 -70 ~ 10 °C

湿度範囲: 40 ~ 95 %

復帰時間: 5分

真空オーブン 真空乾燥器



対応試験

減圧試験、高温・減圧、複合試験

スペック

槽内寸法(W x H x D mm): 450 x 450 x 450

温度範囲: 40 ~ 200 °C

圧力範囲: 933 ~ 1 hPa

耐塵試験機(浮遊式、気流式)



対応試験

耐塵試験、砂塵試験

スペック

槽内寸法(W x H x D mm): 1000 x 1000 x 1000
粉体: ①タルク粉②アリゾナ砂A2 ③関東ローム
(JIS Z 8901 8種)

耐水・耐雨試験機



対応試験

耐水試験、耐雨試験

スペック

槽内寸法(W x H x D mm): 1140 x 1090 x 1185
耐水性能(Code/規格): IPX1、X2、X3、X4、X4K、X9K、
JIS D 0203 R1、R2、S1、S2
水温調整: 25 ~ 80 °C

複合腐食試験機



対応試験

塩水噴霧試験、乾燥試験、湿潤試験、複合腐食サイクル試験

スペック

槽内寸法(W x H x D mm): 1200 x 800 x 500
試験温度(塩水噴霧試験時): 35 °C, 50 °C ±1 °C
塩水濃度: 5 % (NaCl)
噴霧量: 1.5 ± 0.5 ml / 80 cm²/h
温度範囲: -20 °C ~ 70 °C

複合環境振動試験機



対応試験

正弦波振動試験、ランダム振動試験、衝撃試験、複合環境振動試験

スペック

槽内寸法(W x H x D mm): 1000 x 1000 x 1000
温度範囲: -40 ~ +150 °C
湿度範囲: 30 ~ 98 %RH
温度移行時間: +20 → +150 °C: 60分
+20 → -40 °C: 60分

導体抵抗評価システム



対応試験

導電抵抗評価、導電接着性、はんだ接合性

スペック

はんだ接合部やコネクタ接続部の微小抵抗値を連続して測定、接続部分の信頼性を効率よく評価

イオンマイグレーション評価システム



対応試験

マイグレーション寿命、絶縁抵抗、漏れ電流測定、導電接着性

スペック

エレクトロケミカルマイグレーションの解析や評価、絶縁抵抗の評価

デジタルマイクロスコープ



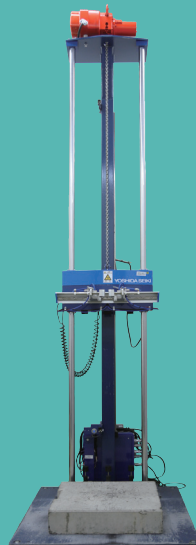
対応試験

電子基板 / 部品などの観測や計測、2D / 3D観測や計測、はんだ接合確認、フラックス残渣

スペック

広範囲の3D映像で計上を描き出す3Dタイリング
数値情報でより詳細な解析が可能な3D計測
高倍率2500倍ズーム

落下試験機



対応試験

落下試験

スペック

供試品最大サイズ(W x D mm): 400 x 360

供試品最大質量 (kg): 5

落下高さ範囲(mm): 500 ~ 2000(姿勢保持落下)

250 ~ 2000(自由解放落下)

衝撃試験装置



対応試験

衝撃試験

スペック

衝撃台サイズ(W x D mm): 300 x 300

供試品最大質量 (kg): 50

衝撃波形: 正弦半波

衝撃加速度範囲(m/S^2): 100 ~ 3000

衝撃作用時間範囲(ms): 6/11

大型恒温槽



スペック

槽内寸法(W x H x D mm): 3050 x 3660 x 2390

温湿度範囲: -65 ~ +170 °C、10 ~ 95 % RH



スペック

槽内寸法(W x H x D mm): 1830 x 1830 x 2390

温湿度範囲: -60 ~ 150 °C、20 ~ 95 % RH

電源・負荷装置



スペック

最大出力: 150kVA

定格: 3相3線 160 ~ 280V、309 A / 773 A peak

3相4線 320 ~ 560V、155 A / 387 A peak

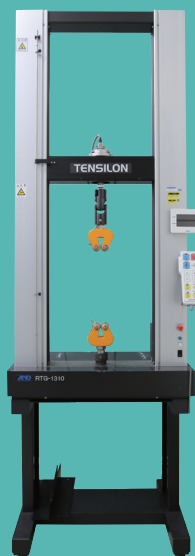


スペック

定格: 5 Ω ~ 4750 Ω、~ 600 V、~ 100 A

備考: 3台並列接続可

万能材料試験機



対応試験

引張試験、圧縮試験、荷重試験

スペック

最大荷重容量: 10 kN

有効試験幅: 420 mm

クロスヘッドストローク: 1100 mm

クロスヘッド速度範囲: 0.0005 ~ 500 mm/min

高度加速寿命試験装置(HAST CHAMBER)



対応試験

耐湿性試験、寿命試験、加速試験

スペック

槽内寸法(W x H x D mm): 294 x 318 x 294

温度範囲: +105.0 ~ +162.2 °C

湿度範囲: 75 ~ 100 %rh

圧力範囲: 0.020 ~ 0.392 MPa(Gauge)

対応規格、試験一覧

LV 124

M-01 Free fall
M-03 Dust test
M-04 Vibration test
M-05 Mechanical shock
M-06 Endurance shock test
K-01 High-/low-temperature storage
K-02 Incremental temperature test
K-03 Low-temperature operation
K-04 Repainting temperature
K-05 Temperature shock (component)
K-06 Salt spray test with operation, exterior
K-07 Salt spray test with operation, interior
K-08 Damp heat, cyclic
K-09 Damp heat, cyclic (with frost)
K-10 Water protection - IPX0 to IPX6K
K-11 High-pressure cleaning
K-12 Temperature shock with splash water
K-13 Temperature shock – immersion
K-14 Damp heat, constant

K-16 Temperature shock (without housing)

L-01 Life test - mechanical/hydraulic endurance test
L-02 Life test – high-temperature endurance test
L-03 Life test - temperature cycle test

IEC 60529 / ISO 20653 / JIS D 0203

防水試験 塵埃試験

ISO 16750-3 / ISO 19453-3 / JASO D 014-3

正弦波振動試験 ランダム振動
バンプ試験 自然落下試験

ISO 16750-4 / ISO 19453-4 / JASO D 014-4

低温試験 高温試験
低温負荷試験 高温負荷試験
高温恒湿試験 温湿度サイクル試験
温度変化試験 熱衝撃試験
塩水噴霧試験
塩水噴霧複合サイクル試験
防水試験 塵埃試験
結露サイクル試験

IEC 60068 シリーズ

低温試験
高温試験
低温負荷試験
高温負荷試験
高温高湿試験
温湿度サイクル試験
温度変化試験
熱衝撃試験
減圧試験
低温・減圧複合試験
高温・減圧複合試験
塩水噴霧試験
塩水噴霧複合サイクル試験
防水試験
塵埃試験
結露サイクル試験
正弦波振動試験
ランダム振動
複合振動試験
衝撃試験
バンプ試験
自然落下試験

開発中の製品の實力試験や、第三者視点での製品評価など、なんでもご相談ください。

最適な試験プランを作成するため、お打ち合わせを通しご依頼内容の詳細を確認します。

試験プラン及び価格・納期をご提示し、ご了承の後に試験対象をご送付いただきます。

問合せ

打合せ

見積作成



お客様のご要望や仕様に従い、迅速に試験を実施します。
立ち合い試験も対応可能です。

試験レポート・データをお客様の希望される形態でご提出します。

試験実施

ご報告



株式会社 UL Japan 事業所案内

ctech.UL.com/ja

本社 〒516-0021 三重県伊勢市朝熊町4383-326
東京本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館6階
T: 03-5293-6000(代表) F: 03-5293-6001

問い合わせ先

コンシューマーテクノロジー事業部
ConsumerTechnology.JP@ul.com

本社安全試験所 〒516-0021 三重県伊勢市朝熊町3600-18
T: 0596-24-8008 F: 0596-24-8002
本社EMC試験所 〒516-0021 三重県伊勢市朝熊町4383-326
T: 0596-24-8999 F: 0596-24-8124
湘南EMC試験所 〒259-1220 神奈川県平塚市めぐみが丘1-22-3
T: 0463-50-6400 F: 0463-50-6401
横輪EMC試験所 〒516-1106 三重県伊勢市横輪町108
T: 0596-24-8750 F: 0596-39-0232
鹿島EMC試験所 〒289-0341 千葉県香取市虫幡1614
T: 0478-88-6500 F: 0478-82-3373
オートモーティブテクノロジーセンター (ATC) 〒470-0217 愛知県みよし市根浦町1-3-19
T: 0561-36-6120 F: 0561-36-6820